

クリニック閉院（2025年3月29日）のお知らせ

保護者の方へ

2000年に小児科クリニックを開業して来年で25年、私も74歳になります。日々可愛い子ども達に接しエネルギーをもらってきたお陰で年齢の割にとても元気です。

素晴らしいスタッフにも恵まれ、私にはとても愛着のあるクリニックですが、余力のある内に引退して余生を送りたいと思います。

子育て広場“バンビ”を看護師が中心となり運営し、乳幼児の子育て支援、また2000人をはるかに超える子ども達の発達相談を受けてきました。すこしは地域の子ども達の健康増進と生育支援に貢献できたと自負しています。本当に多くの子どもと家族に巡り合い、思い出は限りなく、走馬灯のように巡ります。

毎日自宅から往復8キロを自転車で通っていたので、多くのお母さん方に目撃されましたが、私も自転車通勤を楽しんできました。

閉院後も引き続き何らかの形で“子どもよろず相談”（発達相談など）を受けて、地域の子ども達の生育支援に関わりたいと思っています。詳細は決まり次第案内いたします。

閉院まであとわずかですが、1日1日を大切にスタッフと共に診療に携わります。それまでどうかクリニックを利用してください。

子ども達そしてご家族の健康と幸せを祈っています。

おぐち子どもクリニック 院長 小口弘毅

